

# 第1部 西洋製地図の発展と日本の姿

西洋では、古代ギリシア・ローマの時代に大地の姿の探究や世界地図について研究が進みましたが、その後停滞期が続きました。そして15世紀以後の大航海時代に、探検の成果による新知識と天文学など学問の発展によって、西洋での世界地図は、飛躍的に発展しました。それまでの「世界のイメージ図」から、地球上の場所を正確に示す「地図」へと進化を遂げたのです。

そのなかで、西洋にとって長らくナゾとされた地域の一つが日本と、とりわけ当時蝦夷地と呼ばれた北海道周辺でした。試行錯誤の結果、様々な地図が提案されました。

第1部では、西洋の世界地図の発展とともに、日本や北方地域の地図の変遷の様子を紹介します。

## 「世界地図」デ・ウィット 1668年

1640年代のオランダ東インド会社によるオーストラリアや北海道周辺の探検の成果を盛り込んだ世界地図。それまでの地図にあった「南方大陸」はこのころから姿を消した。



# 日本で作製された世界最高水準の世界地図

## 「新訂万国全図」高橋景保 文化7年(1810)

江戸幕府が、当時の西洋の最新世界地図を参考にしながら、間宮林蔵の樺太探検や伊能忠敬の測量成果を採り入れて作製した世界地図。幕府初の世界地図で、樺太や日本列島を正確に図示したこの地図は、当時の世界最先端の地図となった。



## 「地球図」司馬江漢 寛政5年(1793)頃

蘭学者の司馬江漢が、1720年頃のオランダの世界地図を翻訳したもの。日本初の銅版世界地図としても知られる。地図の上下の絵は、江漢が描いた西洋の文物。チラン表面の右は、この地図の東半球部分、同じく左の地図は、江漢が手本にした地図に近いとされる世界地図の西半球部分。



# 第2部 日本製地図の発展と変容する世界観

日本では、16世紀中頃に南蛮貿易が開始されるまで、仏教思想に基づき、インド・中国・日本を中心に世界を捉える考え方が一般的でした。こうした伝統的世界観は、南蛮貿易の開始により西洋の世界地図の情報がもたらされることで、変更を余儀なくされます。

その後、オランダ経由で流入した西洋の世界地図を蘭学者が翻訳出版したことで、日本製の世界地図は飛躍的な進歩を遂げます。

その一方、日本地図などの情報は、西洋諸国にとっても貴重であり、その内容は西洋の世界地図にも採り入れられました。

第2部では、日本製の世界地図の発展とともに、日本の地図製作が西洋の世界地図の発展に与えた影響について紹介します。



## 「坤輿万国全図」天明元年(1781)写

イタリア人宣教師マテオ・リッチが1602年に北京で刊行した「坤輿万国全図」を、天明元年に日本で模写した大型の世界地図。日本列島に富士山を描くなど、独自のアレンジも加える。



## 「南瞻部洲万国掌菓之図」宝永7年(1710)初版

日本で広く受け入れられていた、仏教の考え方に基づく「大地の姿」を地図にしたもの。インド・中国・日本を中心に描かれる。

# 特別企画 守屋壽コレクションの初公開資料

## 新発見の貴重な資料



「万国総図・世界人物図」江戸時代前期 ※

## 吉田松陰 晩年の書



「記宋鄒浩田画王回曾誕生」吉田松陰 安政6年(1859) ※

## ペリー来航を描く絵巻



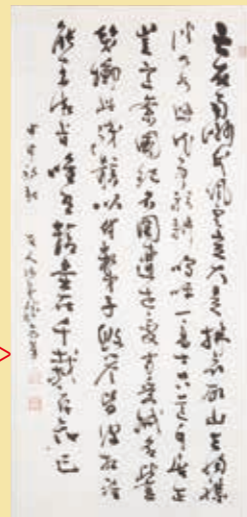
「亞米利加船来航図」江戸時代末期 ※

## 近衛家 旧蔵の名品



「東紀行」鳥丸光広 江戸時代前期 ※

## 西郷を想う 海舟の書



「弔南洲詩」勝海舟 明治17年(1884) ※

## レザノフ来航を描く華麗な絵巻

「文化元年魯人長崎渡来図」江戸時代末期 ※

※は当館寄託資料。このコーナーは、当館所蔵資料と寄託資料で構成されています。



## 「プトレマイオスの世界図」シェーデル 1493年

大航海時代の初期に刊行された、2世紀の地理学者プトレマイオスの世界地図。2世紀の「世界地図」で狭い範囲しか描かれないが、この地図が近代世界地図の出発点となった。



## 「世界地図」アブラハム・オルテリウス 1570年

近代地図製作の父オルテリウスが出版した世界初の地図帳「世界の舞台」に収録された世界地図。南北アメリカ大陸や日本も形は不正確ながら描かれた。南には巨大な「南方大陸」がある。



# 地図と日本

## 守屋壽コレクションにみる 西洋の古地図と日本

守屋壽コレクションは、広島県福山市出身の守屋壽氏が30年以上かけて蒐集した、日本最大級の古地図コレクションです。

5回目となる本展示会では、西洋製地図と日本製地図が、相互に深い影響を与えながら発展した歴史について紹介します。

また、特別企画として、新規寄託資料や、これまで紹介できなかったコレクションの貴重な絵画や古文書などもあわせて紹介します。コレクションの多様な成立ちと、その魅力を御堪能ください。

### 関連行事

- 開催記念講演会・博物館大学(無料、予約不要)
  - 「新訂万国全図  
—その特質と内外地図史における意義—」  
日時:9月23日(土・祝)午後2時~午後3時30分  
講師:岡部 幹彦氏(元文化庁主任文化財調査官)
  - 「江戸時代に刊行された世界地図」  
日時:10月7日(土)午後2時~午後3時30分  
講師:小野田 一幸氏(神戸市立博物館学芸課長)
  - 「西洋の古地図について」  
日時:10月21日(土)午後2時~午後3時30分  
講師:久下 実(当館主任学芸員)  
※会場はいずれも当館講堂
- 展示解説会(入館料が必要)  
9月24日(日)、10月15日(日)、10月29日(日)  
※いずれも午後1時30分~午後2時30分
- ワークショップ(無料、予約が必要、受付は各回開催日の1か月前から)  
「オリジナルの羅針盤を作って測量しよう!」  
日時:10月14日(土)、11月4日(土)  
※いずれも午前9時30分~午後12時30分  
※詳しくはホームページを御覧ください  
対象:中学生・高校生(14歳未満は、保護者又は成人の引率者同伴)  
人数:各回10名(先着順) 会場:当館研修室



「クローバー型世界地図」ビュンティンク 1584年



「プトレマイオスの太陽系図」セラリウス 1661年



「日本扶桑国之図」  
室町時代



「万国総図」  
正保2年(1645)

### 展示構成

#### 第1部 西洋製地図の発展と日本の姿

- 第1章 大航海時代とジバング
- 第2章 ジバングから日本へ
- 第3章 真の極東を求めて
- 第4章 新たな大航海時代と日本

#### 第2部 日本製地図の発展と変容する世界観

- 第1章 西洋製世界図との出会い
- 第2章 蘭学の興隆と世界図
- 第3章 蝦夷地探索と世界図の完成
- 第4章 開国と世界図

#### 特別企画 守屋壽コレクションの初公開資料



・山陽自動車道 福山東・福山西インターから約20分  
 ・山陽自動車道 福山サービスエリア・スマートインターから約15分  
 ・普通自動車の駐車場は、博物館北側、ふくやま美術館との間に市営駐車場があります。  
 ※バス(大型・中型・マイクロ)で来館されて駐車場御利用の場合は、事前に福山城博物館に御連絡ください。(福山城博物館 TEL 084-922-2117)

ふくやま 草戸千軒ミュージアム  
 (広島県立歴史博物館)  
 HIROSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

〒720-0067 広島県福山市西町二丁目4-1  
 TEL 084-931-2513 FAX 084-931-2514  
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/>  
 E-mail: rhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp



ホームページ



ツイッター



# 守屋壽コレクションにみる 西洋の古

令和5年度  
秋の  
企画展

令和5年  
9月22日(金)~11月5日(日)

開館時間:午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで) ※初日の入館は、午前10時から  
 休館日:月曜日(ただし10月9日(月・祝)は開館)、10月10日(火)  
 入館料:一般1,000円(800円)、大学生・高校生500円(400円)、  
 中学生・小学生350円(280円)  
 ※()は20名以上の団体料金 ※文化の日(11月3日)は無料  
 ※ひろしま教育ウィーク期間中(11月1日~5日)は小・中・高校生は無料

主催:ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)  
 共催:中国新聞備後本社  
 後援:福山市、福山市教育委員会、福山商工会議所、広島経済同友会福山支部、  
 一般社団法人福山青年会議所、一般社団法人広島県観光連盟、山陽新聞社、  
 NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、  
 広島エフエム放送、エフエムふくやま、尾道エフエム放送

草戸千軒ミュージアム  
 (広島県立歴史博物館)  
 HIROSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

左図:「世界地図」モルティール、ドゥワール  
 18世紀初頭頃  
 右図:「地球図」司馬江漢 寛政5年(1793)頃